

令和5年度 川場村のあゆみ

ホームステイ再開へ（アメリカ ワイオミング州）

～川場村中学生国際交流事業～

8月10日（木）から8月17日（木）までの8日間、川場中学校の3年生12名が、アメリカ合衆国ワイオミング州スターバリー地方において、川場村中学生国際交流事業に参加しました。

この事業は、アメリカの生活や文化を体験することで国際感覚を養い、国際性豊かな人間の育成を目的に平成7年度から実施されておりました。新型コロナウイルス感染症の流行により令和2年度から令和4年度の3年間を中止しておりましたが、今年度の再開により26回目のホームステイを実施することができました。

生徒たちは、それぞれのホストファミリー宅で4日間を過ごした後に、全員でイエローストーン国立公園やグランドティートン国立公園等を見学しました。

この8日間の体験を通して感じたこと、学んだこと、経験したことをこれからの生活に活かしてほしいと思います。



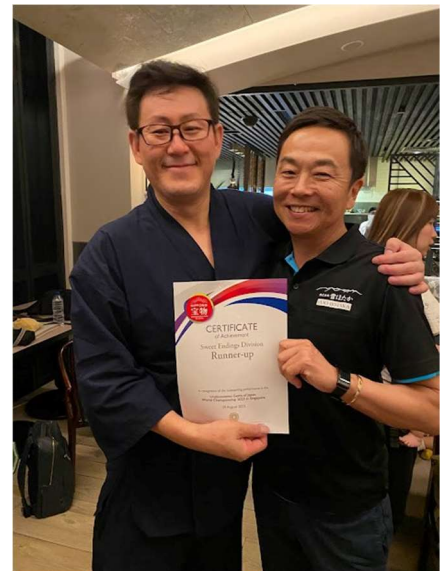
にっぽんの宝物 世界大会（シンガポール大会）2023（株）雪ほたか出場商品が準グランプリを受賞

～ 日本・最新スイーツ部門 「大地と水の和菓子 はあて」 ～

令和5年8月23日（水）24日（木）に開催された「Undiscovered Japan Festa 2023 にっぽんの宝物 世界大会（シンガポール大会）2023」において、群馬（利根沼田）から同グランプリにエントリーした「Hearte Konjac and rice flour sweets（大地と水の和菓子 はあて）」（（株）雪ほたか、（株）北毛久呂保）が、「Sweet Endings Division（日本・最新スイーツ部門）」で準グランプリを受賞しました。

この大会は、「Undiscovered Japan Festa（まだ見たことがない日本祭）」として開催されました。企業、地域、パフォーマーなど、オールジャパンで参画し、アジアの人たちがまだ知らない日本の面白さをPRしていく祭典です。去る2月に「JAPAN グランプリ」出場時の「蒟蒻とお米の餅っとぷにん わび」という名称は、世界大会に向け、日本の伝統的な健康食品であるこんにゃくと、日本人の主食であるお米から、新しいヘルシーなスイーツを強く発信するために、改良を繰り返し、今回の「はあて」の名称に変えて大会に臨みました。

（株）雪ほたかの星野孝之氏は、「今回は、狩野氏（（株）北毛久呂保）と一緒に今まで闘ってきましたが、宝物プロジェクトのお陰で世界の扉を少しでも開けたかなと思っています。また、こんにゃくとお米の可能性を世界の人たちに伝えていきたいとも思っています。」と語っていました。



群馬ヤクルト販売（株）と地域社会づくり包括連携協定を締結



9月6日（火）、川場村役場にて群馬ヤクルト販売（株）と地域社会づくり包括連携協定を締結しました。

群馬ヤクルト販売（株）は、強みである健康づくり分野だけでなく、幅広い分野において様々な社会貢献活動に取り組まれております。この協定により、高齢者の支援、観光振興、地域活性化などの様々な分野において協力体制がより強固なものとなることが期待されます。

外山村長は「これまで御社には、村内の個別訪問により間接的に高齢者等の見守りをしていただいた。この協定で更なる連携を深めるべく、協定締結のご提案をいただき感謝申し上げます。」と話していました。

萩室の獅子頭が川場歴史民俗資料館に保管されました

萩室地区に伝わる三体の獅子頭は、ときの沼田城主・真田伊賀守が諏訪神社に参拝された折りに、寄進したとされています。それ以来、「天下一のひばきみりゅう非夾流」と称して代々傳承されてきました。近年では、種々の都合により昭和42年に舞を奉納したのを最後に途絶えてしまっておりましたが、平成8年に萩室獅子舞保存会が発足し、萩室地区の諏訪神社で毎年復活上演されておりました。しかしながら、会員の高齢化、若手後継者の減少によって令和5年3月に獅子舞は再び休止となってしまいました。いつの日か復活するときまで獅子頭等について萩室地区より貸与を受け、川場村歴史民俗資料館で保管することになりました。常設展示されておりますので、ぜひ見学にお越しくください。



卒寿・上寿を迎え、慶祝訪問

9月20日（水）、外山村長、小菅議長、小林社会福祉協議会長が今年度90歳を迎える皆さんのご自宅を訪問させて頂きました。また、上寿（百歳）を迎えられた小林志津枝氏（谷地）には、ご家族に慶祝状とお祝いの品々が贈られました。

また同日、今年度100歳を迎える4名に内閣総理大臣からの慶祝状と記念品を伝達させていただきました。



西関東小学生バンドフェスティバル

～金賞受賞 全国大会出場決定～

10月1日(日)、ALSOK群馬アリーナにおいて、第29回西関東小学生バンドフェスティバルが開催されました。群馬・埼玉・新潟・山梨の4県7校の代表団体が出場。川場小学校金管バンド川場キッズ(児童20名)が出場し、栄えある金賞に輝きました。



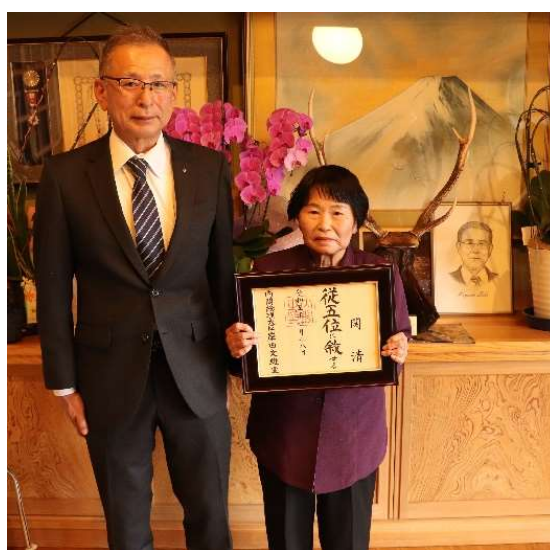
川場村発展への功績が認められました

～故 関 清氏に従五位～

10月6日(金)、故関清氏ご自宅において、従五位の伝達式が執り行われ、関氏の妻かづ子氏に、外山村長より位記が手渡されました。

関氏は、川場村長として平成15年から平成27年までの3期12年、川場村議会議員として昭和62年から平成15年までの4期16年と長きにわたり在職されました。

その間、数々の要職を務め、平成の市町村大合併の際には自主自立の村づくりを選択する等、川場村発展のため多大な貢献をされました。この度、その功績が認められ、従五位が授与されました。



川場村発展への功績が認められました

～吉野 博喜氏に旭日単光章～

10月3日(火)、吉野氏ご自宅において、旭日単光章の伝達式が執り行われ、元川場村議会議員の吉野博喜氏に、外山村長より勲記と勲章が手渡されました。

吉野氏は、川場村議会議員として昭和58年4月から平成19年までの間の4期12年と長きにわたり在職されました。

その間、数々の要職を務め、「川場かるた」の製作や川場村誌の編纂に携わる等、川場村発展のため多大な貢献をされました。この度、その功績が認められ、天皇陛下より旭日単光章が授与されました。



戦没者の冥福祈る ～川場村戦没者追悼式～



10月18日（水）、川場村文化会館において戦没者追悼式が行われました。

4年に一度開催される式典には、遺族及び関係者が参列し、外山村長、遺族代表者らにより忠霊塔から御霊が運ばれ、祭壇にお燈明が灯されました。

外山村長が「大戦によって亡くなられた英霊に対し、深く追悼の誠を捧げます」と追悼の言葉を述べた後、集まった参列者が戦没者の冥福を祈り献花を行い、平和への思いを新たにしました。

百歳を祝い、慶祝状

10月22日に乗原ひさ子氏が百歳の誕生日を迎えられました。乗原氏は大正12年生まれ。大正、昭和、平成、令和と激動の時代を力強く生きぬいてきました。

10月25日（水）、外山村長、小菅議長、小林社会福祉協議会長が乗原氏が入所されている川場春光園を訪問、長寿をお祝いし慶祝状の贈呈式が行われ、お祝いの品々が贈られました。



役場新庁舎が完成 愛称は「kawaba BASE」

令和4年4月に着工した役場新庁舎を含む拠点施設は、これからの川場村の中心となるという意味を込めて「kawaba BASE」と名付けられ11月6日（月）に開庁しました。「kawaba BASE」は役場新庁舎を中心に、むらの学習館、交流ホール、エネルギーセンター、防災倉庫が連絡ブリッジによって繋がっています。構造材、外壁や床材などに川場産木材を積極的に利用しており、庁舎待合ロビーの吹抜け上部には、杉の製材による架構が大胆に展開している構造となっています。



新庁舎の完成に伴い、役場新庁舎落成式が10月29日(日)に開催され、会場となった交流ホールには関係者約250名が集まりました。外山村長は「新庁舎の完成を機に、なお一層気持ちを引き締め、より能率的な行政を推進し、産業・文化の発展、村民の福祉向上に専念してまいる決意でございます。」と述べました。



11月6日(月)、新庁舎前のソト広場にて役場新庁舎開庁式が行われました。式典では、村議会議員や職員その他、設計を担当した(株)プランツアソシエイツの宮崎社長も出席されました。

群馬県優良青年農業者表彰

11月10日(金)に第59回群馬県優良青年農業者表彰式が群馬県庁昭和庁舎正庁の間において開催され、中野の横坂考純氏・夏希氏夫妻と、谷地の関拓哉氏が受賞しました。この事業は、群馬県と上毛新聞社の共催で、農業が抱える様々な課題の中でも、特に後継者不足の解消を目的とし、優れた成果をあげている青年農業者の意欲を喚起する役割も担っています。横坂氏は受賞者代表として「社会情勢の悪化や自然災害が農業に深刻な影響を及ぼしているが、本日の表彰を励みにこの困難に立ち向かい、農業界を牽引していきたい」と謝辞を述べました。



本村が「ぐんまの木利用促進功労者表彰」を受賞

11月15日(水)、群馬県庁昭和庁舎にて表彰式典が行われました。これは県産木材の利用促進に関し、特に優れた取組を行った個人や団体を表彰する制度です。本村は、11月6日(月)に開庁した新庁舎を木造一部鉄骨構造として建替を行い、村全体で地域材を積極的に利用していることが評価され表彰に至りました。



川場キッズ旅に出る ～第42回全日本小学生バンドフェスティバルで銀賞～

1月18日(土)、第42回全日本小学生バンドフェスティバルが大阪城ホールで行われました。今大会も出場校36チームの中で村立は川場小のみ。『ふるさと川場村を照らす希望の光』をテーマに、20人全員で心を一つにして練習の成果を存分に発揮し、見事、銀賞に輝きました。素晴らしいステージを創り上げた川場キッズの姿は、会場にいたたくさんの方々に感動と勇気を与えてくれました。



雪ほたかとして通算15回目の金賞！

～「米・食味分析鑑定コンクール：国際大会」総合部門 小林仁志氏金賞受賞～

1月2日(金)、3日(土)に国内最大規模を誇る「第25回米・食味分析鑑定コンクール：国際大会 in つなん」(主催：米・食味鑑定士協会など)の最終官能審査が、新潟県津南町で開催されました。総出品点数5,092点。国際総合部門では、小林仁志氏(立岩)が3年連続7度目の金賞、和田祐次氏(天神)が特別優秀賞を受賞。また、水田環境特A部門では、角田伸一氏(川場湯原)が2年連続2度目の特別優秀賞を受賞しました。小林氏と和田氏はゆうだい21での受賞。3年前から川場村水稲金翔会(小林幹雄会長)と(株)雪ほたかによる共同プロジェクトにより、栽培を続けてきました。また、コシヒカリを出品した角田氏は2年連続受賞の快挙となりました。成績は以下のとおりです。

【国際総合部門】

金賞 小林仁志(立岩) 品種 ゆうだい21
特別優秀賞 和田祐次(天神) 品種 ゆうだい21

【水田環境特A部門】

特別優秀賞 角田伸一(川場湯原) 品種 コシヒカリ



百歳を祝い、慶祝状

2月15日(木)に角田あい子氏が百歳の誕生日を迎えられました。翌日、外山村長・小菅議長・小林社会福祉協議会会長がご自宅を訪問して、長寿を祝福し慶祝状とお祝いの品々を贈呈いたしました。



特別養護老人ホーム「川場春光園」に御下賜金



毎年、天皇誕生日に際し、天皇陛下から、社会福祉事業の推奨のため、優良な民間社会福祉事業施設・団体に贈られる「御下賜金（ごかしきん）」の対象に、本県から川場春光園が選ばれました。

川場春光園は昭和52年に創設・開設以来、当法人の長年にわたる地域の高齢者福祉における貢献はもとより、介護の職場環境の改善、地域への積極的な協力や介護の仕事の魅力を伝える取組も行い、介護人材の育成等への貢献を評価され下賜されることとなりました。